

震災時の対応について

初版：2011年3月15日

[株式会社ハーフタイム]

震災発生時の被害を最小限に抑えるには、一人一人があわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。その為には、いざという時に落ち着いて行動ができるよう日頃から正しい心構えを身につけておく事が大切です。 参照 『消防庁 地震防災マニュアル』

震災の際に ... 震災時は派遣先の指揮命令者、及び防災管理者、その他の従業員の指示に従って行動して下さい。

【職場】

職場で発生した場合

- ・ 窓ガラスが割れることがあるので、窓際から離れましょう。
- ・ O A 機器などの落下に注意しましょう。
- ・ 常日頃から整理整頓をするなど職場環境をよくしておきましょう。
- ・ 外へ逃げるときはエレベーターを使わないようにしましょう。

地震などの揺れが収まったら・・・

- ・ あわてて行動すると、飛び散ったガラスの破片等で怪我をする恐れがあります。
小さな揺れの時は、揺れが収まった後に窓や戸を開け出口を確保しましょう。

安全場所へ退避・・・

- ・ 役所から避難の指示・勧告等が出たら、それに従いましょう。

【その他】

職場以外で災害が発生した場合

- ・ 突然の地震により大きな揺れに襲われた時は、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。(丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。)また、頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。
- ・ 棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。
- ・ 高層階での地震は、揺れ始めは遅く、揺れ出すと長く揺れ、揺れ幅も大きくなる傾向

があります。

- ・ 建物内では日頃から非常口の確認をしておきましょう。
- ・ 劇場/スーパー/デパートなどでは

バックで頭を保護し座席の間に身を隠して揺れが収まるのを待ちましょう。
エレベーターホールや比較的商品の少ない場所、柱付近に身を寄せましょう。
ガラス製品や瀬戸物、陳列棚の商品などの落下・転倒に注意しましょう。
慌てて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。

エレベーターが動いていたとしても、エレベーターによる避難はしないように
にしましょう。(エレベーター内で災害にあった場合は同様に閉じこめられている
人も大勢いると予想されます。救助にすぐに駆けつけてくれるとは限りません。
エレベーターに閉じこめられても、焦らず冷静になって「非常用呼び出しボタン」
等での連絡を取る努力をしましょう。)

災害が発生した時にはデマが飛び交いがちです。噂に惑わされずに、テレビ・ラジオ・
役所等からの情報に注意し、正しい状況の把握に努めて下さい。

【連絡について】

安全確認の為、こちらからも随時ご連絡を入れさせて戴きますが、落ち着かれましたら
派遣元のハーフタイムへ必ずご連絡を入れて戴きますようお願い致します。

【TEL】：03-5919-2575 / 0120-963-163 【Mail】：info@half-time.co.jp

電話回線の状況で連絡先が繋がらない事もありますので、その際には上記 info 宛
にメールをお送り下さい。各担当者よりご連絡をさせて戴きます。

【防災マニュアル関連】

消防庁 地震防災マニュアル http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/index.html

地震に備える - あなたを守る8つの行動 http://rescue.yahoo.co.jp/check_01_01.html

【災害用伝言板】 災害時に利用可能な有効手段ですので必ずご確認下さい。

171 (災害用伝言ダイヤル) <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

ドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

au http://www.au.kddi.com/notice/saigai_dengon/index.html

softbank <http://mb.softbank.jp/mb/information/dengon/index.html>

以上